

令和3年4月2日

質 疑 回 答 書 ( 設 計 図 書 )

施設部整備課

工事名 京都大学(南部)がん免疫総合研究センター新営その他工事

標記工事の設計図書について下記のとおり回答いたします。

※ 数量書の質問回答については、質問回答書(数量書)を参照願います。

No.	図面番号	質問事項	回答
1	A-118	PC版図においてファスナー部に耐火被覆の図示がなく数量内訳書にも計上がありませんが耐火被覆は必要と考えて宜しいでしょうか、また厚みは20と考えて宜しいでしょうか。	耐火被覆は必要とし、半乾式ロックウールt25吹付とします。
2	現場説明書1号	5-(2)-④監督職員事務所の設置期間は埋蔵文化財調査の4ヶ月間と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。なお、調査終了後は整理作業期間となり、この期間の事務所の維持は、大学が行うものである。
3	特-02	工事区分において電気錠の配管配線が接続ボックスまで建築工事となっておりますが、接続ボックスの位置は各扉の直上天井内と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
4	B-01図	凡例に本調査範囲 深さ10.7mとありますが断面によるとTP+51.26から深さ2.6mが調査範囲となっております。4ヶ月の埋蔵文化財調査期間で深さ2.6m迄調査した後は本体掘削中に適宜発掘調査員が掘削状況を確認すると考えて宜しいでしょうか。	本体掘削中の調査・確認はありません。
5	A-117他	PC版の重量が約5.0t～R部分最上部約10.0tとなっております。対応する揚重機での計画になりますが、分割等は可能でしょうか。	図面に示す分割とする。
6		(現場説明書)	
7		工事概要等の工期に、令和5年3月31日までと記されていますが、この間に完成は不可能と思われます。 工期につきましては2024年2月末まで延長できるものと考えてよろしいでしょうか。	完成期限は、図面等に記載のとおりである。
8		(仮設)	
9	148	工事場所への進入口に近衛通から構内道路への車両動線が記されていますが、構内道路通行に特別な手続きが必要でしたらご教示ください。	申請のうえ、入構許可を受ける必要があります。

10	149	STEP 1 に医学部E棟、雨水・生活排水・実験排水ルート切替えが記されていますが、別途工事と考えてよろしいでしょうか。	本工事内である。
11	149	STEP 2 の旧 R 1 廃液処理室基礎撤去用土留めが埋戻し後撤去と記されていますが、STEP 3 では残っており、STEP 4 では消去されています。この土留めはSTEP 2 終了時に撤去するものと考えてよろしいでしょうか。	そのとおり。
12	149	STEP 4 に東大路通に歩道仮設切下げが記されていますが、STEP 1 の時点で設置してもよろしいでしょうか。	よろしい。ただし、関係官庁へ事前に協議・申請を行うこと。
13	151～153	山留・構台計画図が参考図と記されていますが、受注者により安全確保及び動線を考慮した計画に変更できるものと考えてよろしいでしょうか。	よろしい、ただし、監督職員の承諾を得ること。
14		(汚染土壌撤去)	
15	154～155	154図の汚染土壌撤去図に土壌汚染工区の範囲図がありますが、155図の数量表に、A-2-③・A-2-④・A-3-③・A-3-⑥・B-3-⑤・C-1-⑧・C-4-③・D-1-⑦・D-4-①が記されておられません。備考欄に記載の同一単位区画として面積に含まれているものと考えてよろしいでしょうか。	そのとおり。
16	154～155	155図の数量表にB-3-⑨、及び同一単位区画にB-4-③が記されていますが、154図では土壌汚染工区外となっています。B-3-⑨・B-4-③は土壌汚染工区と考えてよろしいでしょうか。	よろしい。 154号図は別図-4に変更とする。
17		(構造)	
18	—	コンクリート単位水量が不明です。185kg/m <sup>3</sup> 以下と考えて宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。
19	S-12	B1階伏図 X1通り左側のFCはリストがありません。配筋をご指示願います。	S-48図を参照してください。

20	S-14	3階伏図 X9通り CPG5Aはリストがありません。CPG5に倣うと考えて宜しいですか。ご指示願います。	CPG5AはCPG5に倣い、梁幅のみB=800としてください。
21	A-028 S-42	南玄関廻り断面詳細図の押えコンクリートの凡例L-RCt150と軽量コンクリートで配筋が溶接金網ですが、雑配筋図(4)は土間コンクリート配筋D10 @200 シングルクロスと異なります。断面詳細図を正と考えて宜しいですか。ご指示願います。	雑配筋図(4)を正とします。
22	EV-03・08 S-42	EV01・02 トップビームの工事区分が不明です。建築工事にて、見込んで宜しいですか。その場合、部材・納まりは雑配筋図(3)EV(3)鉄骨詳細図に倣うとして宜しいですか。ご指示願います。	建築工事にて見込む。部材、納まりは雑配筋図(3)EV(3)鉄骨詳細図に倣う。
23	A-132	3階踊場平面詳細図 鉄骨梁上にスタッドボルト1-φ16 H=100 @200を見込んで宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。
24	A-132	F矢視詳細図 タイロッドの詳細が不明です。φ25として宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。
25	A-133	H矢視詳細図 アンカーボルトの本数が、図示は4本ですが、リストは2本と異なります。図示の4本を正として宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。
26	A-079	風除室の鉄骨先付けプレートについて、プレートの幅はW140と考えて宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。
27		(外部)	
28	特-04 A-008	EV屋根のアスファルト防水が下記のように相違しています。○のD-1を正と考えて宜しいですか。ご指示願います。 ○特記仕様書(4)・・・D-1 ×外部仕上表・・・B-1	D-1を正とします。
29	A-026	地下Fドライエリアの排水溝が防水モルタルですが、床や立上りが塗膜防水(C-UI)なので排水溝も塗膜防水(C-UI)と考えて宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。

30	A-105/9	ECP足元内SUS水切りはt=1.0、水抜きパイプはφ1800と考えると宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。
31	A-030	1F南側のX5～7間ドライエリアの塗膜防水仕様が下記のように相違しています。○のX-2を正と考えると宜しいですか。ご指示願います。 ×断面詳細図S-S・・・C-UI ○断面詳細図T-T・・・X-2	よろしい。
32	A-015 A-113	PC版とRCとの取合位置がY9通りX5～6間で下記のように相違しています。○のX5+2400を正と考えると宜しいですか。ご指示願います。 ○平面図(2)・・・X5+2400 ×PC版平面割付図(1)・・・X5通り	よろしい。
33	A-105/9・19	ECP板とALC版の取付金物は、耐火被覆ロックウール吹付t=20を見込むと考えると宜しいですか。ご指示願います。	ALC板は必要です。 ECPは各メーカーの認定内容によります。
34	特-05	特記仕様書に耐火二層管といの防露巻きを適用する記載がありますが、耐火二層管には防露巻きは不要と考えると宜しいですか。ご指示願います。	必要です。
35		(内部)	
36	A-015	1F倉庫のX6・Y5通りの柱型はGL1と考えると宜しいですか。ご指示願います。	C-W(A)EP-Gとします。
37	A-015	1F器材庫・前室の柱型はGL1と考えると宜しいですか。ご指示願います。	C-W(A)EP-Gとします。
38	A-010 A-100	1F通訳ブースの壁化粧ガラスカウルボードの端部押エ縁は、樹脂製コ型(既製品)と考えると宜しいですか。ご指示願います。	不要です。
39	A-015	1F展示ブース・通信機器室のコンクリート間仕切面はGL1と考えると宜しいですか。ご指示願います。	C-W(A)EP-Gとします。
40	A-100	床OAフロア下のセルフベリングはt=15と考えると宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。

41	A-016 A-087	2～5Fミーティング室の戸袋 <sup>°</sup> 裨横の間仕切はW5と考えて宜しいですか。ご指示願います。	W8とします。
42	A-015 A-086	1FランチルームのSLW天井内間仕切が平面図では、W1(石膏ボード <sup>°</sup> t=12.5+12.5)、移動間仕切詳細図は石膏ボード <sup>°</sup> t=12.5となっています。石膏ボード <sup>°</sup> t=12.5を正と考えて宜しいですか。ご指示願います。	平面図を正とします。
43	特-04 A-010	1F便所床の磁器質タイルのサイズ <sup>°</sup> が特記仕様書4では400*400、特記仕様書5では400*600角、仕上表では600*600と相違しています。400*600を正と考えて宜しいですか。ご指示願います。	400x600を正とします。
44	A-040	2～5F男子便所の手荷物台の詳細をご指示願います。	SKなどのライニングに倣う。
45	A-009 A-045	B1F洗浄前室の壁仕上が仕上表ではFK-D、展開図ではEP-Gと食い違っています。仕上表を正と考えて宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。
46	A-100	防水押え軽量コンクリートに溶接金網φ6-100*100を見込むと考えて宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。
47	A-009A-100	B1F洗浄室の巾木の高さが仕上表ではH=100ですが、共通詳細図によると防水立上りがFL+150までありますので、巾木の高さもH=150と宜しいですか。ご指示願います。	H=150とします。
48	A-015	1F ACRの外壁面 曲面壁の凡例はW9と宜しいですか。ご指示願います。	多角形でW6Bとします。
49	A-015 A-030	1F ACRのAG3周囲の納まりは壁同材巻込みと考えて宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。
50	特-05 A-100	屋内のマホール蓋の耐荷重が特記仕様書ではT-4、共通詳細図ではT-2と食い違っています。T-4を正と考えて宜しいですか。ご指示願います。	T-4を正とします。
51	A-021 A-028	雨水ピット <sup>°</sup> の地階天井内点検扉の詳細をご指示願います。	A-065、068図 SD-13とします。

52	A-015 S-52	平面図、1F風除室1に鉄骨丸柱が2箇所ありますが、仕上げはSOP塗と考えて宜しいですか。ご指示願います。	よろしい。
53	A-035 A-099	階段2詳細図1、X2・Y5通りの柱型を含むコンクリート面下地ですがGL1と考えて宜しいですか。ご指示願います。	C-W(A)EP-Gとします。
54	A-013 A-019	仕上表、5F更衣室の床下地にOA床とありますが、平面図には書入れが見当たりません。OA床は不要と考えて宜しいですか。ご指示願います。	C-F(A)増打15 CAR(C)とします。
55	A-100	共通詳細図2/7、壁仕上げガラス丸張t=50の色調をご指示願います。	白とします。
56	A-008	仕上表、上部共通事項の13に壁点検口の書入れがありますが、設置箇所が不明です。ご指示願います。	屋内縦樋の通るフカシ壁面とします。
57		(建具)	
58	特-07 A-067	特記仕様書 マルカーテンウォールに、映像調整を行うとありますが、建具表では熱線反射ガラスは使用はありません映像調整は不要と考えて宜しいですか。ご指示願います。	不要です。
59	A-015 A-050 A-065	1階ランチルーム/ミニキッチン・洗面に建具がありますが建具符号がありません。建具表をご指示願います。	LSD-27 W2600xH2100 ユニオン EBV-110 焼付塗装仕上 同等とします。
60		(外構)	
61	E-02	雨水排水工事において、雨水排水人孔柵φ900/600の詳細をご指示願います。	公共建築工事標準図(機械設備工事編)(平成31年版)による。
62	E-02	雨水排水工事において、雨水柵600角の詳細をご指示願います。	公共建築工事標準図(機械設備工事編)(平成31年版)による。

63	E-02	雨水排水工事において、塩ビ柵の詳細をご指示願います。	公共建築工事標準図(機械設備工事編)(平成31年版)による。
64		(構造関係)	
65	P-02	汚染土壌数量表の現況地盤とは既存建屋とりこわし後を考慮した平均地盤レベルとしてよろしいですか、御指示ください。	よろしい。
66	特-02	埋戻し及び盛土の仕様でB種適用範囲が外構整備とありますが、本体以外全てとしてよろしいですか、御指示ください。	舗装・排水管等外構工事に関してのみB種とし、以外全てがA種とする。
67	E-09	旧解剖学教室・旧R I有機廃液処理室・医学部H棟のとりこわし後の地盤レベルの記入がありますが、それぞれH500・H2000・H5000の掘削部(とりこわし部)は汚染土を含まないとしてよろしいですか、御指示ください。	P-01図、P-02図のとおりである。
68	仮-02	STEP3で健全土による埋戻しとありますが、範囲は本体・外構の撤去範囲全てとしてよろしいですか、御指示ください。	汚染土壌除去に伴う掘削範囲について埋め戻すものである。
69	仮-02	地盤改良(STEP3整地用)の範囲はSMW内全てと既存建屋2棟(とりこわし)埋戻し部としてよろしいですか、御指示ください。	そのとおり。
70	P-02 P-01	B-3-9エリア、B-4-3エリアの汚染の有無は下記のいずれですか、御指示ください。 汚染土壌数量表 汚染 有り 汚染土壌撤去図 汚染 なし	B-3-⑨、B-4-③、ともに汚染有。別図-4参照。
71	P-02	「外構範囲については地盤面-500mmの範囲を撤去とする。」とありますが、汚染工区の外構範囲内を撤去としてよろしいですか、御指示ください。	汚染工区のうち、本体建物以外の範囲が外構範囲となり、地盤面-500mmを汚染土壌の撤去を行うものである。
72	S-01 A-133	構造設計仕様に頭付きスタットボルトΦ16の記載がありますが、該当場所及び仕様が不明です。それぞれ下記としてよろしいですか、御指示ください。 該当場所 - 螺旋階段鉄骨梁上(H-200x200x8x12) 仕様 - H100 @200 1列	よろしい。

73	S-08	鉄骨構造標準図（２）のスリーブ補強要領図にプレート補強の記載がありますが、既製品補強使用可能と記載があります。今回工事では鉄骨梁貫通孔補強は既製品を採用としてよろしいですか、御指示ください。	よろしい。
74	S-48	西玄関庇鉄骨支柱SP190脚部に保護コンクリートの図示（点線部）がありますが、配筋要領が不明です。下記としてよろしいですか、御指示ください。 主筋 - 端部L2かぶせ筋形状のD13を X・Y方向合わせて4本 フープ - D10@200	よろしい。
75	S-03	配筋標準図（２） 8. 柱で、仕口内主筋の折り曲げが $a \leq D/6$ の場合に、一般フープを1サイズあげるか同径2本配置するとありますが、本工事では同径2本配置するとしてよろしいですか、御指示ください。	よろしい。
76	S-03	配筋標準図（２） 8. 柱で、最上階の柱筋のかぶり厚さが大きい場合に、柱頭補強筋を配筋するとありますが、本工事では採用無しとしてよろしいですか、御指示ください。	採用無しとしてよろしい。 ただし、8.4 柱頭の定着が確保できない場合の補強は必要です。
77		上記より、採用する場合は該当場所を御指示ください。	上記による。
78	S-13~15	2階X4~5通り間/Y5~7通り間等で、デッキスラブの中央に段差がありますが、段差部納まりはスラブ上に増打をするとしてよろしいですか、御指示ください。	スラブ上の増打ちは不可。
79	S-23	柱断面表の注記に柱の帯筋は（仕口部除く）、スパイラルフープとするとありますが、中子筋および仕口部フープ形状は下記としてよろしいですか、御指示ください。 仕口部 - フック付き 中子筋 - フック付き	よろしい。
80	S-23 S-37	柱C1の1階~3階一般フープの鉄筋径およびピッチ仕様は下記のいずれですか、御指示ください。 柱断面表 - 1階S13@90 2階S13@90 3階S13@100 架構配筋図（１） - 1階D13@100 2階D13@100 3階D13@100	柱断面表を正とします。



81	S-47	X 8 + 2 2 5 0 通り / Y 2 通り 玄関庇鉄骨梁の無収縮モルタル厚は下記のいずれですか、御指示ください。 F 視図 - t 3 0 e 視図 - t 4 2	t 30 です。
82	A-133	H 矢視詳細図で、螺旋階段 H - 2 0 0 x 2 0 0 x 8 x 1 2 の鉄骨に取り付くアンカーボルト本数は下記のいずれですか、御指示ください。 図示 - 4 本 記載 - 2 本	4 本を正とします。
83	S-40 S-35	EW 5 0 の横筋は下記のいずれですか、御指示ください。 雑配筋図 ( 2 ) - D 1 9 @ 1 5 0 壁断面表 - D 1 9 @ 2 0 0	D19@200を正とします。
84	A-021 S-39	ピット内に人通孔がありますが、補強要領は既製品としてよろしいですか、御指示ください。	よろしい。
85	A-106 S-13	1 階伏図特記に土間コンクリートの配筋 D 1 0 の記載がありますが、ガスボンベ庫詳細図の土間コンクリートは溶接金網です、ガスボンベ庫のみ溶接金網を適用としてよろしいですか、御指示ください。	よろしい。
86	A-27 A-30	下記ドライエリア上部の外側にアゴがありますが、SMWと緩衝します。SMWをはつるとしてよろしいですか、御指示ください。 Y 9 通り / X 1 ~ 7 通り間 Y 5 通り / X 1 ~ 5 通り間 X 5 通り / Y 1 ~ 5 通り間	よろしい。
87	E-05 E-07 E-08	カルバート A ~ D の止水板の仕様は地下貯油槽構造基礎に記載あります塩ビ製 C F 型としてよろしいですか、御指示ください。	図示の通り。
88	E-05 E-07	カルバート A ・ D で、本体建屋取合部の緩衝材有無が不明です。必要な場合、仕様等 ( 厚み含む ) を御指示ください。	不要です。
89	E-34	旧 R I 有機廃液処理室とりこわしで、既存基礎梁下地業に碎石の記載がありません。他部材同様に碎石 t 5 0 が存在するとしてよろしいですか、御指示ください。	碎石はありません。

90	E-29 E-30	医学部H棟とりこわしで、独立基礎F 4の上部の納まりは下記のいずれですか、御指示ください。 便所断面詳細図 － 1SLまでコンクリート 基礎配筋図 － 1SLまでコンクリートブロック	1SLまでコンクリートである。
91		(意匠関係)	
92	A-008	階段(1)塔屋外壁 防水型複層塗材Eはひび割れ漏水防止の為、J I S A 6 0 2 1規格品を使用するとしてよろしいですか、御指示ください。	よろしい。
93	特-04、A-008 A-034	屋根R階EV(1)上部のアスファルト防水の仕様は下記のいずれですか、御指示ください。 特記仕様書(4)、外部仕上表 － B-1 階段(1)・EV(1)詳細図(3) － D-1	D-1を正とします。
94	特-04 A-008、028、029	1F南玄関・東ドライエリアのアスファルト防水の仕様がDI-1となっていますが、図示は露出ではありません。DI-1でよろしいのですか、御指示ください。	よろしい。
95	A-015 A-030	1F東ドライエリアの排水溝スチールグレーチング蓋及び排水柵鋳鉄製格子柵の耐荷重はT-4としてよろしいですか、御指示ください。	T-2とします。
96	A-029 A-028	1F西玄関ポーチの押えコンクリート内スタイロフォーム敷込t155～180は南玄関広場と同じく排水ブロックとしてよろしいですか、御指示ください。	スタイロフォームとします。
97	A-015～020、023 A-113～117	北面X5通り外壁が下記のいずれですか、御指示ください。 平面図、立面図 － ECP PC版平面、立面割付図 － PC	平面図、立面図を正とします。
98	S-42 A-028	玄関廻り押えコンクリートの配筋は下記のいずれですか、御指示ください。 雑配筋図(4) － D10@200 南玄関廻り断面詳細図 － 溶接金網 φ6-100x100	S-42図を正とします。

99	特-8	<p>断熱材吹付について、昨今の工事現場火災に対する資産価値低下を防止するために不燃断熱材が推奨されておりますが、設計図では階段（１）塔屋及びEV（１）頂部のみ不燃断熱材、その他は不燃材となっております。不燃断熱材吹付とする必要はないでしょうか。御指示ください。</p>	図示の通り。
100	A-25 A-101	<p>2～5階実験研究ゾーンの天井木製リブ張りのピッチは下記のいずれですか、御指示ください。  矩計図（１）          －  @250  共通詳細図（３）      －  @194～207</p>	共通詳細図を正とします。
101	A-56, 58 A-11, 12	<p>2～5階廊下の巾木仕上は下記のいずれですか、御指示ください。  2階展開図（３）他      －  SV  仕上表（４）他          －  化粧鋼板パネル</p>	仕上表を正とします。
102	A-38 A-8	<p>2階らせん階段の床仕上は下記のいずれですか、御指示ください。  らせん階段詳細図      －  耐薬VS（FS）  仕上表（１）          －  発泡VS（FS）</p>	段部は発泡VSを正とします。
103	A-19 A-13	<p>5階更衣室の床下地：OA床の有無は下記のいずれですか、御指示ください。  平面図（６）          －  無し  仕上表（６）          －  有り</p>	平面図を正とします。
104	A-10 A-53	<p>1階廊下の壁仕上は下記のいずれですか、御指示ください。  仕上表（３）          －  内装薄塗材E  1階展開図（４）      －  EP-G</p>	仕上表を正とします。
105	A-10 特-4 特-5	<p>1階HWC・WWCの床タイル寸法は下記のいずれですか、御指示ください。  仕上表（３）          －  600×600  特記仕様書（４）      －  400×400  特記仕様書（５）      －  400×600</p>	400x600を正とします。
106	A-8	<p>EVシャフト内の壁仕上がC-W（C）と記載ありますが、見隠れ部の為C-W（C）は不要としてよろしいですか、御指示ください。</p>	図示の通りとします。
107	A-107 A-108	<p>サイン記号A（アクリル文字）の3階の数量は下記のいずれですか、御指示ください。  3階サイン配置図      －  7か所  サインリスト          －  6か所</p>	6ヶ所を正とします。
108	A-107 A-108	<p>サイン記号Q（カッティングシート）の地階の数量は下記のいずれですか、御指示ください。  地階サイン配置図      －  7か所  サインリスト          －  6か所</p>	7ヶ所を正とします。

109	A-103D18	足洗流ステンレスの厚みは下記のいずれですか、御指示ください。 共通詳細図 (5) (A-A' 断面図) - t 2 共通詳細図 (5) (仕様欄) - t 1	t 2 を正とします。
110	A-038	スクリーンケース受け鉄骨の縦材の部材寸法、ピッチが不明です。□-90×90×2.3 @900としてよろしいですか、御指示ください。	よろしい。
111	A-061 A-101D10	地階電気室の折板二重天井の点検口の数量は下記のいずれですか、御指示ください。 天井伏図 (1) - 3か所 共通詳細図 (3) - 2か所	天井伏図を正とします。
112	A-040	基準階男子便所の小便器横の手荷物棚 (造作) H1200の仕様、断面詳細が不明です。御指示ください。	SKなどのライニングに倣う。
113	A-039, 040	便所洗面化粧台横フックの仕様が不明です。御指示ください。	ステンレス製とします。 ※LIXIL KF-28 同等品
114	A-022 A-022 A-022 A-011 A-008 A-135他	下記の程度を御指示ください。 ・外壁 特注タイル ・外壁 防水型複層塗材E ・外壁 撥水剤 ・実験研究ゾーン壁 塩化ビニル樹脂シート ・雨水ピット他 T防水 (C-U I) ・記念講堂他床 鋼製床	外壁 特注タイル→52 x 292xT20 施釉 (窯変釉) 役物 (接着) 外壁 防水型複層塗材E→エスケー化研(株)レフレッド同等 外壁 撥水剤→(株)セントラルコンクリート ポルトガードAF同等 塩化ビニル樹脂シート→アパ工業(株)オルティノ インパクトマット同等品 T防水 (C-U I) →大関化学工業(株) オステイト同等 鋼製床→染野製作所 ジムエース同等
115		(建具関係)	
116	特-06	鋼製建具の簡易気密型ドアセットの該当建具が不明です。御指示ください。	建具表 建具性能SATに適用。
117	A-064 特-07	複層ガラスの空気層の仕様は下記のいずれですか、御指示ください。 建具仕様書 - 空気 (A 6) 特記仕様書 (7) - アルゴン	建具仕様書を正とします。

118	—	上記より、アルゴンの場合は厚さを御指示ください。	上記による。
119	K-05 K-04	AW5の端部(W210部分)の仕様は下記のいずれですか、御指示ください。 防火改修建具詳細図(1)(参考図) — AL-2.0t 防火改修建具表 — F I X	K-05図を正とします。
120		(屋外関係)	
121	E-01	敷地境界石標の設置替えが必要な場合、寸法、仕様、詳細、か所数を御指示ください。	必要ありません。
122	特-09	アスファルト混合物等の抽出試験のか所数が不明です。御指示ください。	3ヶ所とします。
123	E-01 特-09	樹木の客土厚は下記のいずれですか、御指示ください。 外構平面図 — H150 特記仕様書(9) — 樹高3m以上～7m未満 60cm 樹高3m未満 50cm	H=150とします。
124	E-02	柵リストS1～32、E1～31の仕様、詳細(コンクリート強度、配筋、砕石等)、蓋の仕様、耐荷重、詳細が不明です。御指示ください。	公共建築工事標準図(機械設備工事編)(平成31年版)による。
125	E-02	計画建物西側に柵蓋を化粧蓋(T-20)に更新及び柵蓋をT-20に更新と記載ありますが、仕様、寸法が不明です。御指示ください。	実験排水系：鋳鉄 石張用化粧MH蓋 T-20 φ600用 水封・防臭型 受枠共。 雨水系：MHD600 鋳鉄 MH蓋 T-20 600角用 水封型 受枠共。
126	E-02	外構排水計画図に生活排水ポンプアップ槽、実験排水ポンプ槽の図示がありますが、仕様・詳細・寸法・配筋等が不明です。御指示ください。	E-02図に記載の通り。
127	E-09	外構撤去平面図の既存樹木リストで移植の樹木がありますが、移植後の支柱の仕様が不明です。御指示ください。	支柱は無しとします。

128		(見積関係)	
129	B-01	埋蔵文化財調査の範囲は、凡例のハッチングがかかった範囲としてよろしいでしょうか。	よろしい。
130	P-01 B-01	汚染土壌撤去の範囲も埋蔵文化財調査の範囲に含まれるとしてよろしいでしょうか。	よろしい。
131	B-01	埋蔵文化財調査において、凡例の「本調査範囲深さ」は、建物基礎深さとしてよろしいでしょうか。	埋蔵文化財調査深は、施工のための掘削深、又は2.6mまでの何れか浅い方までである。
132	B-01	埋蔵文化財調査において、機械掘削は「掘削土断面図」に記載の通り表土から1000mmとしてよろしいでしょうか。	よろしい。
133	特-12	2章 仮設工事において、「山留めは撤去とする」とありますが、親杭横矢板工法の場合、横矢板の撤去費も見込むとしてよろしいでしょうか。	よろしい。
134	特-12	1章 一般共通事項において発生土の受入場所の記載がありますが、こちらは指定ということでしょうか。他の受入場所を探すことは可能でしょうか。	監督職員と協議すること。
135	A-117	PC版は特殊車両による運搬が必要なものがある場合は早朝・夜間の搬入、荷降ろしを可と考えてよろしいでしょうか。	関係官庁、監督職員と協議すること。
136		上記において、不可の場合、割付や形状の変更を設計変更で行うとしてよろしいでしょうか。	監督職員と協議すること。
137		(施工計画関係)	
138	現場説明書 2枚のうち 1号・2号	5 (2) ①仮設建物等で、仮設建物等を設置するときは、「仮設物設置許可願」を監督職員に提出して発注者等の承諾を得ること。とありますが、配置図兼仮設計画図の工事用地以外でご提供頂くことは可能でしょうか。	現場説明書2号に示すとおりである。

139		(構造)	
140	S-01	構造設計仕様 4地業工事 土間コンクリート 備考に防湿シート敷きと指示がありますが、内部土間コンクリートは無しのため、該当なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
141	S-01	人通孔の補強要領が不明です。既製品と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
142	S-01	5. コンクリート工事についてですが、土間コンクリート及び雑用コンクリートについては、温度補正を含まないものとして考えてよろしいでしょうか。ご指示ください。	よろしい。
143	S-01	5. コンクリート工事の雑用コンクリートに、 $F_c=18$ 及び $L_c=18$ と記載しています。普通コンクリート $F_c=18$ での打設は可能と考えてよろしいでしょうか。ご指示ください。	軽量コンクリート部分は軽量コンクリートとしてください。
144		(鉄骨)	
145	A-132	F矢視詳細図 タイロッドの詳細が不明です。詳細を御指示下さい。	丸鋼 $\phi 25$ とします。
146	A-132	3階踊場平面詳細図 鉄骨梁上のスタッドボルトは $\phi 16$ H100 1列 @200と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
147	EV-03 EV-08	EV01、02 トップビームはEV工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
148	特-03 S-01	鋼材に関して、高炉材、電炉材の指定はないものとして宜しいですか。 ご教示願います。	監督職員と協議し決定すること。

149		(外部)	
150	特-02 A-026	排水溝の溶接金網が下記のように相違しています。 ・特記仕様書(2) : $\phi 3.2-50*50$ ・矩計図(2) : $\phi 2.6-50*50$ 屋上排水溝は $\phi 2.6-50*50$ を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	$\phi 2.6-50x50$ を正とします。
151	特-04 A-008	EV【1】屋根のアスファルト防水仕様が下記のように相違しています。 ・特記仕様書(4) : D-1 ・外部仕上表 : B-1 D-1を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-1を正とします。
152	A-008	仕上表 共通事項21. 樋の耐火二層管に防露巻きを行うと記載がありますが、耐火二層管を使用した場合防露巻きは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	必要です。
153	A-124	R階勾配屋根の断熱バックアップ材が、西エリアは $t=25$ ですが、東エリアは $t=40$ です。西エリアも $t=40$ と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図示の通り。
154	A-015	1F東ドレイアのルーフトレイン $\phi 150$ の排水径路が不明です。御指示下さい。	直下の雨水ピットとします。
155	A-015	1F東及び西ドレイアの鋳鉄製格子蓋部分にはドレイン $\phi 150$ を見込んで宜しいでしょうか。又、排水径路も併せて御指示下さい。	X5通(南)付近格子蓋の直下は雨水ピットが無く、コンクリート柵形状として屋外排水系統により排水。 X9通(北)付近格子蓋は蓋のみで直下の雨水ピットへ流下とします。 (共にドレイン不要)
156	A-015	1FドレイアX5~7間の排水溝は $W300*H300$ で、勾配底モルタルは、 $t=40\sim 140$ と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	$W150\times H60$ 勾配底モルタル $t15\sim 35$ とします。
157	A-026	B1Fドレイア排水溝 $W=150$ が防水モルタル $t15\sim 35$ ですが、床・立上りがT防(C-UI)なので排水溝も防水モルタルの上にT防(C-UI)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。



158	A-015 A-113	Y9通りのPC版とRCとの取合位置が下記のように相違しています。 ・平面図(2)：X5+2400 ・PC版平面割付図(1)：X5通り X5+2400を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
159	A-105/9	押出成形セメント板足元水切りは $t=1.0$ 、水抜きパイプは $\phi 1800$ と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
160	A-105/9	押出成形セメント板足元内水切りは $SUS t=0.4$ と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
161	A-030	1FX5～7間ドラエリアの防水仕様が下記のように相違しています。 ・断面詳細図S-S：C-UI ・断面詳細図T-T：X-2 X-2を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
162	A-105/9・19	押出成形セメント板とALC版の取付金物は、耐火被覆ロックール吹付が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ALC板は必要。 ECPは各メーカーの認定内容による。
163		(内部)	
164	A-103	身障者手摺(小便器用、L型)の取付下地PLの厚みを御指示下さい。	PL-1.6とします。
165	A-103	洗面カウンターの腰幕板の仕上を御指示下さい。	ポリ合板とします。
166	A-031	各水槽の梁型はコンクリート打放補修素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
167	A-009 A-031	雑排水槽、動物排水槽、汚水槽、高温排水槽の塗膜防水の種別が仕上表ではT防a、断面詳細図ではC-UIと相違しています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

168	A-028	断面詳細図において、雨水ピットの排水溝に溝底防水モルタルとありますが、仕上は塗膜防水を見込むと考えると宜しいでしょうか。また立上りは打放補修+塗膜防水で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
169	A-008A-029	断面詳細図において1F西玄関下ピット部の雨水ピットの床、壁に塗膜防水の記載がありませんが、他の雨水ピット同様に塗膜防水を見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
170	A-021	ピットの排水溝が基礎梁を通る場合、通水管、VPφ150半割を見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	図示の通り。
171	EV-02	EVの敷居受け(建築工事)の詳細を御指示下さい。	R C増打ちとする。
172	A-008	EVシャフトの壁・天井にコンクリート打放補修がありますが、型枠外しのままで宜しいでしょうか。御指示下さい。	図示の通り。
173	A-015	平面図、1Fエントランスホール・ホリゾのX7通りに壁仕上げが天然木シート～表面保護塗装に変わる箇所がありますが端部卯見切縁の仕様が不明です。御指示下さい。	天然木シート板の底目地とします。
174	A-016 A-056	展開図、X7・Y4・7通りの丸柱が塩化ビニル樹脂シート貼とありますが、平面図X8・Y7・Y8通りの丸柱の仕上げも上記同様と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
175	A-008 A-038	仕上表、らせん階段の踏面下地がモルタルt=30とありますが、らせん階段詳細図ではt=40です。後者を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	t=40を正とします。
176	A-008 A-011 A-038	仕上表、らせん階段の床仕上げが発泡VS (FS) とありますが、らせん階段詳細図では耐薬VS (FS) です。実験・研究ゾーンの床仕上げが耐薬VS (FS) なので後者を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	各フロアレベルはC-F(A)増打15 耐薬VS (FS) 2.0、段部は発泡VS (HS) 2.8とします。
177	A-038	らせん階段詳細図、手摺腰壁が強化合わせガラスt=10+10とありますが、飛散防止フィルムは必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要です。
178	A-038	らせん階段詳細図、手摺ステンレスφ42.7の厚みはt=1.0と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。尚、ブラケット SUS304ステン仕上げの部材寸法及びブラケット受材の寸法を御指示下さい。	SUSパイプ：t=1.2 ブラケット：スガツネ工業13-9320型 グレージング：スガツネ工業14-0763型 同等品以上

179	A-038	らせん階段詳細図、階段廻りがラス間仕切壁のフラットバー枠取付下地がC-100*50*20とありますが、C-100*50*20*3.2と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	t=2.3とします。
180	A-038	らせん階段詳細図、シャッター上部にGB-Ft21+21の耐火間仕切がありますが、シャッター下地が90*90*2.3とあるので100型と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
181	A-008 A-033	仕上表、階段1の段裏下地がC-C(A)コンクリート打放仕上(A種)ですが、階段1詳細図2ではC-C(C)でコンクリート打放補修(C種)です。仕上表を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	仕上表を正とします。
182	A-032	階段詳細図1、RC階段手摺詳細図の角鋼15*15が2段ありますが、厚みはt=1.5と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	ムク材とします。
183	A-008 A-129	仕上表、階段2の踏面下地がモルタルt=45とありますが、鉄骨階段詳細図2では踊場がt=75です。後者を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
184	A-103	共通詳細図1/12、階段手摺点字サインがありますが、具体的な設置場所が不明です。御指示下さい。	階段(1)(2)(3)の各手摺(段部 上下端)とします。
185	A-042	地階二重天井詳細図、たて樋φ75がありますが、仕様はVP管と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
186	A-030	断面詳細図1、R-R'断面図の二重天井ALC部にメントボードt12.5がありますが、下地は軽量鉄骨下地100型と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
187	A-016	平面図、2F副室～教授室にサッシ取合方立とありますが、仕様はスチールt=1.6+SOP塗と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	スチール t1.6 SOP W350xD129 H1425 ガラスウール充填(32kg/m3) サッシ取付: [-40x20x2.3 とします。
188	A-107 A-108	サイン案内図、A7クル文字の箇所数ですがリストでは3階6箇所、4階6箇所、5階9箇所キープランでは3階7箇所、4階7箇所、5階10箇所です。キープランの箇所数を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	リストを正とします。
189	A-107 A-108	サイン案内図、Qカッティングシートの箇所数ですがリストでは地階6箇所、キープランでは7箇所です。キープランの箇所数を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	キープランを正とします。

190	A-008 A-025	断熱材の範囲が、仕上表 断熱材仕様・範囲では外壁・梁型・各階折り返しW=450、矩計図では外壁・最上階折り返しW=400と食い違っています。矩計図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	W=400を正とします。
191	A-043 A-061	記念講堂詳細図で壁際下り天井の高さ・仕上げがH=125、H=160、H=260とありますが、高さの使い分けが不明です。天井高CH=3225部がH=125、下り天井H=125部がH=160、下り天井H=100部がH=260と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
192	A-102	1F控室のカウンターの天板がカウンター平面図はメラミン化粧板、断面詳細図はポスフォームと食い違っています。メラミン化粧板を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	メラミン化粧板ポスフォーム加工とします。
193	A-010 A-051	1F通訳ブースの壁仕上げが仕上表は化粧GWB、展開図はEP-Gと食い違っています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
194	A-015	1F通訳ブースの階段は鋼製床H=200、踏面蹴込は発砲ビニル床シートt=2.8、ステンレスノスリップ付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
195	A-015	1F通訳ブースの1F±0部の床仕上げはコンクリート金鋸押え+発砲ビニル床シートt=2.8と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
196	A-010 A-015	1F事務室兼管理室の給湯室の床仕上げはセルフベリタングt=10+置敷ビニル床タイルt=5.0と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	コンクリート直均しVT(FOA)とします。
197	A-061	1F通訳ブースの暗幕ボックスには、2F機器室(2)同様に暗幕用カーテンレール アルミ シングルが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
198	特-06	鍵箱の仕様・収納本数を御指示下さい。	監督職員と協議し決定する。
199	特-08 A-008~013	特記仕様書にタッカーペット(A)の記載がありますが、仕上表では見当たりません。不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合、施工場所を御指示下さい。	該当なし。
200	A-011	2~5F実験研究ブースの柱型 塩化ビニル樹脂のメーカー品番を御指示下さい。	アイカ工業 オルティノ インパクトマット 同等品以上とする。

201	A-039	WCのフックの仕様・メーカー・品番を御指示下さい。	ステンスフック LIXIL KF-28 同等品以上とする。
202	A-010 A-102	耐震天井の廻縁が仕上表では塩ビとなっておりますが、共通詳細図では金物と食い違っています。共通詳細図を正と考えて、SOP塗りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	2～5F実験・研究ゾーンの廻縁はアルミ L-75x30x1.2とします。
203		<医学部E棟>	
204	A-101 K-03	天井仕上げ化粧石膏ボードが撤去・新設となりますが、天井廻縁の仕様は本体に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。	塩ビ製 コ型とします。
205		(建具)	
206	特-07 A-064	特記仕様書／複層ガラスにて、乾燥気体の種類：アルゴンが適用されていますが、建具仕様書では空気層6.0mmとなっております。空気層6.0mmを優先し、アルゴンは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	乾燥空気とします。
207	特-07 A-067	特記仕様書／マルチテンウォールにて、映像調整：行方が適用されていますが、建具表では熱線反射ガラスは使用されておりません。映像調整は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要です。
208	A-015 A-050 A-065	1階ランチルーム／キッチン・洗面の収納ドアに建具符号の記載がありません。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 8枚折れ戸 2600*2700 ※LSDと同じ仕様	LSD-27 W2600xH2100 エオン EBV-110 焼付塗装仕上 同等品以上とします。
209	A-064 A-067	複層ガラス：SL(4)は、FW6.8+A6+FL5と記載ありますが、設置建具のAW-1Gは防火設備サッシです。個別認定が必要ですので、FW6.8+A6+Low-E5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
210	A-064	建具仕様書／ガラス押えグレイジングは、E:2成分形シリコン系シーラントの指示となっておりますが、公共建築工事標準仕様書では、SR-1(1成分形)です。2成分形シリコン系シーラントを優先するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	その通り。

211		(外構)	
212	仮-03	仮設詳細図において、近衛通りの搬出入口の詳細がありますが、数量書では各数量に「既存範囲」、「仮設範囲」とありそれぞれの範囲が不明です。仮設詳細図を正とし、歩道と車道のみやり替えて考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	既存範囲とは外構整備にて新たに切下げを設ける範囲、仮設範囲とはそれ以外の工事前仮設切下げ範囲を示す。
213	E-02	外構排水計画図：雨水枡リスト及び生活排水、実験排水リストの、下記について詳細を御指示下さい。 ・塩ビ樹 ・SC樹 ・人孔 φ900、φ1200	公共建築工事標準図(機械設備工事編)(平成31年版)による。
214	E-03	石張り塀の、御影石のメーカー品番を御指示下さい。	指定はなし。
215		(仮設)	
216	-	医学部E棟、医学図書館及び書庫は、本体掘削の影響範囲に入ります。各棟の断面図(地下階の範囲、杭の有無、基礎深さ)を貸与頂けないでしょうか。	受注者に大学より貸与する。
217	E-20 (175)	東大路通り側に「東側以外は枠組(防音)」と記載がありますが、見積り対象外と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	「東側以外は枠組(防音)」を「枠組(防音)」に変更します。
218	E-09 (164) E-20 (175)	3/25に現地に伺いましたが、仮囲いは着工までに撤去されるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。ただし、着工時期は事前に監督職員と協議すること。
219	E-09 (164) E-20 (175)	既存仮囲いの撤去が弊社で必要な場合は、着工時別途協議して頂けるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	No. 218参照。
220	現場説明書	仮設事務所は工事用地外の大学構内に借地することはできないでしょうか。ご教示ください。大学構内に借地できなければ、敷地外に事務所を設置する計画とします。	工事用地は現場説明書(2号)に示すとおりである。
221	現場説明書	学校行事・近隣地区行事による作業不可となる日程をご教示ください。	8月 オープンキャンパス(2日間) 1月 センター試験(2日間) 2月 入試(3日間) 上記以外は、適宜監督職員より指示を行う。

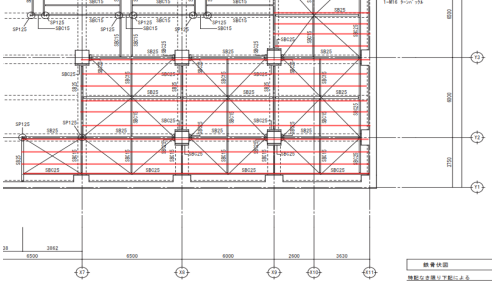
222	現場説明書	大学構内道路は大型車両（10t車以上）が通行しても問題ないでしょうか。重量規定がありましたらご教示ください。	通行してもよいが、安全に十分配慮し、必要に応じて養生などを行うこと。
223	現場説明書	門衛所前にゲートがあり、大型重機の搬出入車両が干渉する可能性があります。一時的にバーを撤去・復旧することはできますか。通行は深夜帯の時間帯を考えております。ご教示ください。	監督職員と協議する。
224	現場説明書	工事中排水ルートをご教示ください。また構内既存配管への排水の場合、排水基準値等のルールがあればご教示ください。	本工事外構図面を参照に検討願う。生活排水について特に基準値は無いが、法令等に基づいて適切な排水を行うこと。
225	現場説明書	仮囲いについて、医学部E棟、医学図書館に面して透明パネルの指定がありますが、騒音に配慮し、鋼製パネルH3.0mを設置としてよろしいでしょうか。ご教示ください。	監督職員と協議する。
226	現場説明書	作業時間が原則午前8時～午後6時と記載されています。山留重機、掘削重機、揚重機等の大型重機は早朝・深夜帯に搬出入できるものとしませんがよろしいでしょうか。また、コンクリート打設およびそれに伴う直押えの時間延長は可能であるものと考えでよろしいでしょうか。ご教示ください。	関係官庁及び監督職員と協議する。
227	現場説明書	南側京大病院ほか井戸を使用されている施設はありますか。ご教示ください。	京都大学吉田キャンパスにおいては、北部構内、本部構内、西部構内、医学部構内、薬学部構内にある。
228	現場説明書	病院外来者の駐車場入口での待機が鞠小路及び近衛通りに多いと思われそうですが、工事車両搬入出に対する規制等はありませんか。ご教示ください。	規制はないが、医学部構内東側の東大路通りを主動線とすること。
229	現場説明書	東大路通に面した工事用地東側のバス停の土地は、京都大学様より京都市へ譲渡されたものでしょうか。ご教示ください。	京都大学の敷地です。
230	現場説明書	南側近衛通を挟んで大学病院が近接していますが、病院に対する配慮および規制等はありませんか。ご教示ください。	規制はないが、騒音・振動・粉塵などに対して配慮すること。
231	現場説明書	電波障害対策は必要でしょうか。ご教示ください。	必要ありません。

232	B-01	埋蔵文化財調査による掘削深さは3 m程度と考えてよろしいでしょうか。また機械掘削深さが表土H1.0mと記載がありますが、掘削位置によって掘削底レベルが変わるものと思われます。機械掘削深さは一律TP+50.26 mとしてよろしいでしょうか。ご教示ください。	埋蔵文化財調査の調査深は2.6m、機械掘削深は1.0mとなるが、詳細は本学文化遺産学・人文知連携センターの指示による。
233	特-12	土壤汚染の「5 工事管理者」にて、「工事管理者は土壤汚染対策法に基づく指定調査機関及び指定支援法人に関する省令第5条に規定する技術管理者証の交付を受けたものとする」とありますが、工事管理者は土壤汚染対策工事を行う協力会社から選任してもよろしいでしょうか。ご教示ください。	よろしい。
234	P-01	京都市のHPではまだ対象地の区域指定がされていないと認識しておりますが、土壤汚染工区はいつ区域指定されるのでしょうか。区域指定がされてからでないと、汚染区域の施工に着手するための届出（土対法12条届出）の提出ができないため、工事着手工程に影響します。区域指定される日を（見込みでも結構ですので）ご教示ください。また、区域指定日が5月初旬よりも遅れる場合、別途工期に関して協議願います。	区域指定は令和3年4月中旬～下旬予定である。
235	該当なし	土壤汚染対策法4条1項の形質変更届出は、土壤汚染調査結果と共に、建築主にて提出されるという認識でよろしいでしょうか。ご教示ください。	形質変更届出は、大学より提出済。土壤汚染状況調査結果は、令和3年3月30日に大学より提出。
236	該当なし	土壤汚染対策法4条1項の形質変更届出は、お客様にて提出済で、当工事の契約後すぐに土壤対策工事に着手できるものと考えてよろしいでしょうか。	形質変更届出は上記回答のとおりであるが、請負業者にて汚染土壌区域外搬出の計画書を作成及び京都市と協議を行ったうえ、土壤汚染対策工事に着手すること。
237	P-02	地下水汚染はないものとしてよろしいでしょうか。ご教示ください。	現在調査中である。
238	P-02	汚染区域以外のエリアの土壌は健全土として処分できるものと考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	よろしい。
239	P-02	汚染土壌範囲参考表で原状地盤から約+3～4mが汚染土と読み取れますが、それ以深は汚染土扱いではなく、健全土として扱ってもよろしいでしょうか。ご教示ください。	よろしい。ただし、現在詳細確定を行っているところであり、変更する可能性がある。



240	P-02	汚染土壌数量表に「外構範囲については地盤面-500mmの範囲を撤去とする」とありますが、500mm以上掘削が必要な箇所については正規に掘削数量を見込むものとしてよろしいでしょうか。ご教示ください。	500mm以上掘削が必要な場合は、監督職員と協議し決定すること。
241	K-01~K-06	医学部E棟および医学図書館の防火改修工事について、原則、大型連休での作業を想定しております。作業可能日程をご教示ください。	監督職員と協議し決定すること。
242	K-01~K-06	医学部E棟および医学図書館の防火改修工事について、仮設間仕切りによる仮囲いの設置は必要でしょうか。ご教示ください。	不要です。
243	K-01~K-06	医学部E棟および医学図書館の防火改修工事について、アスベストはないものとしますがよろしいでしょうか。ご教示ください。	よろしい。
244	仮-02	既存躯体および埋蔵文化財調査用の山留めは撤去することとなっていますが、撤去対象は山留め芯材のみとし、矢板は残置とさせていただいてよろしいでしょうか。 矢板の残置が不可である場合、山留め仕様をシートパイルとしてよろしいでしょうか。	矢板も撤去すること。仕様の変更は監督職員と協議すること。
245	仮-02	既存躯体および埋蔵文化財調査用の山留めは撤去することとなっていますが、撤去する際に振動・騒音が発生します。医学部E棟、医学図書館等が近接しているため、作業日時の制約があればご教示ください。	現在は特にないが、工程については監督職員と協議すること。
246	E-18	医学部E棟等地中配管切回し工事（別途設備工事）の予定期間をご教示ください。	請負業者にて検討し、監督職員と協議をすること。
247	S-26	プレストレス導入完了したPC梁については直下のサポートは解体できるものと考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	監督職員と協議し決定すること。
248	S-01	（躯体） 構造設計仕様のコンクリート工事において、「躯体（基礎部）FC21 備考：RSL以上・塔屋、設備基礎等」の記載がありますが、（基礎部）とはどこを示していますでしょうか。御指示下さい。	（軸部）とします。
249	S-12・23	B1階伏図において、X1通外側にFCの記載がありますが、柱断面表にありません。詳細を御指示下さい。	S-48図を参照とする。

250	S-14・28・29	3階伏図において、X9-Y2に梁CPG5Aの記載がありますが、PC梁リストにありません。CPG5と同じと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	CPG5AはCPG5に倣い、梁幅のみB=800とします。
251	S-29	PC梁リスト3FのPG3Aにおいて、腹筋4-D10の記載がありますが、断面図と相違しております。断面図を正とし、2-D10と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
252	S-35・40	壁EW50の配筋において、横筋の@が壁断面表と土圧壁配筋図とで相違しております。土圧壁配筋図を正とし、D19@150と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	D19@200を正とします。
253	S-13・40・A-026・027	ピット部の1F立上り壁において、構造図、土圧壁配筋図ではDW50・DW60の上部はDW20となっておりますが、意匠図ではt=250です。意匠図の厚みを正とし、リストはDW25と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	DW20を正とします。
254	S-14・15	3～5階伏図X6-Y5螺旋階段部に跳出しスラブの記載がありますが、リストが不明です。CS1と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	先端に下記の梁を設けて、大梁との間は増打ちとします。 B×D=250×900 上下端主筋 2-D19 スターラップ □-D10@200 腹筋 4-D10
255	S-13～15・A-025	2～R階外周曲線部において、構造図では梁側増打の記載がありますが、意匠図では、跳出しスラブのみ記載です。構造図を正とし、増打は必要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
256	S-42	(鉄骨) 梁貫通孔リスト箇所数について、該当箇所はRC梁のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
257	S-52	風除室 鉄骨断面表において、梁符号SB15 (H-150x75x6x9)の記載がありますが、H型鋼製造範囲に該当がありません。参考数量書より下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (誤) 設計図書 H-150x75x6x9 (正) 数量書 H-150x75x5x7	よろしい。

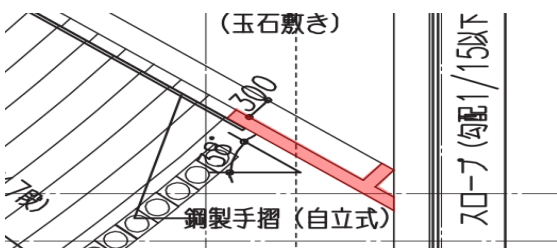
258	A-42、S-51	<p>2重天井構造図において、天井受材Y方向と記載がありますが、意匠図のALC配置図ではX方向に下地が必要となり、相違しています。意匠図を正とし、下図赤線方向に受け材を配置と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> 	ALC板より下の軽天下地等を受けるための部材であるため、Y方向を正とします。
259	S-01	鉄骨工事 構造用鋼材H型鋼について、電炉材と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	監督職員と協議し決定すること。
260	特09 A015	<p>(外装) 南玄関・西玄関廻りの溝蓋について、下記のように相違しております。特09図の「スリット化粧蓋・ステンレス製・T-14」を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・特09図 スリット化粧蓋・ステンレス製・T-14 ・A015図 鋼製スリット化粧蓋(W250用・T-2)</p>	A-015図を正とします
261	特05 A010	<p>(内装) 1階便所の床タイルについて下記のように相違しております。仕上表を正とし、GT-(600×600)と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 (正) 内部仕上表：GT-600×600 (誤) 特記仕様書：GT-400×600</p>	特記仕様書を正とします。
262	A009、014	<p>地下1階の下記の建具について鼠返しの図示がありますが、仕上表にはありません。鼠返しが必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・洗浄前室～洗浄室間のW=1700両開戸 ・クリーン廊下～実験室間のW=1200片引戸</p>	よろしい。
263	A-067	<p>(建具) 建具表にて、ACW-1の備考欄に衝突防止表示が記載されておりますが、姿図に記載がない為、衝突防止表示の数量が不明です。御指示下さい。</p>	49ヶ所とする。
264	A-067	<p>建具表にて、ACW-1の備考欄に飛散防止フィルムが記載されておりますが、飛散防止フィルムの必要な範囲が不明です。範囲を御指示下さい。</p>	1階強化ガラス範囲とします。

265	E-02	<p>(外構) 外構排水計画図にて、下記項目の断面詳細を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桝リスト(雨水)塩ビ桝Φ200</li> <li>・ 桝リスト(雨水)SC-3</li> <li>・ 桝リスト(雨水)SC-4</li> <li>・ 桝リスト(生活排水・実験排水)SC-3</li> <li>・ 桝リスト(生活排水・実験排水)SC-4</li> <li>・ 桝リスト(生活排水・実験排水)SC-5</li> </ul>	公共建築工事標準図(機械設備工事編)(平成31年版)による。
266	E-02	外構排水計画図の桝リスト(雨水、生活排水・実験排水)にて、蓋耐圧の指示なき耐圧を御指示下さい。	MHA600 T-6 とします。
267	E-02	<p>外構排水計画図の桝リストにて、下記項目のメーカー、品番を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桝リスト(雨水)塩ビ桝Φ200用蓋T-8</li> <li>・ 桝リスト(雨水)SC-3桝用 MHA-600、MHD-600(T-20)</li> <li>・ 桝リスト(雨水)SC-4桝用MHA-600</li> <li>・ 桝リスト(生活排水・実験排水) SC-3桝用MHA-600</li> <li>・ 桝リスト(生活排水・実験排水) SC-4桝用MHD-600(T-20)</li> <li>・ 桝リスト(生活排水・実験排水) SC-5桝用MHD-600(T-20)</li> </ul>	公共建築工事標準図(機械設備工事編)(平成31年版)による。
268	E-03	外構詳細図(1)の舗装石張り舗装敷モルタルt30と記載されていますが、断面寸法では、t35となっています。この場合、t35と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	t35を正とします。
269	E-03	外構詳細図(1)の排水桝コンクリート製雨水桝タイプA、タイプB断面詳細指示ありますが、この場合、桝リストのSC-3:600角桝断面とし、タイプAとBの使い分けは、化粧蓋仕様の場合タイプA、それ以外はタイプBと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
270	E-03	外構詳細図(1)の囲障鋼製手摺A、手摺B断面詳細の指示がありますが、メーカー品番を御指示下さい。	(有)アツミ 鋼製手摺 溶融亜鉛メッキ リン酸処理仕上 同等品以上とします。
271	E-03	外構詳細図(1)の囲障石張り囲障御影石t40はG332 1等品と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
272	E-12	外構撤去配置図 医学部図書館南側AS撤去・復旧(D-01)と指示がありますが、「D-01凡例表層撤去済。路盤のみ。」となっています。この場所は、表層+路盤全て撤去・復旧と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

273	S-23	柱仕口部のフープは、外周型として宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしい。
274	S-23	スリットは、柱外周フープのみとし、中子筋は、両端フック形状として宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしい。
275	S-24	梁スラップは、外周外周型、中子筋両端フックとして宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしい。
276	S-35	底盤のD22・D19は、重ね継手として宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしい。
277	S-35	壁のD25・D19は、重ね継手として宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしい。
278	S-35	W16・W16Aに、斜め開口補強筋は不要なものとして宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしい。
279	S-35	FS1～FS4リストにX方向主筋を優先とあるのは、スラブの短辺長辺にかかわらずX方向(伏図の左右方向)を主筋方向とするということでしょうか。御指示ください。	短辺長辺にかかわらず、X方向の配筋を外側に配筋とします。短辺長辺の配筋は図面の通り。
280	S-17	Y7通軸組図 B1F X4～X5 のKW20に、水平・垂直スリットはあるものとして宜しいでしょうか。御指示ください。	スリットはありとします。
281	S-36	ニューフェローデッキが取合う梁側にデッキのみ込み分の増打は、不要なものとして宜しいでしょうか。必要な場合、増打厚さを御指示ください。	10mmの増打ちとします。
282	S-13	1・2階のC6・C7において、円柱部の増打補強筋の配筋を御指示ください。	C6 14-D16 ○-D13@100 C7 16-D16 ○-D13@100 とします。
283	S-14, 29	3階伏図において、X9通-Y2～3通に CPG5A がありますが、リストにありません。リストを御指示ください。	CPG5AはCPG5に倣い、梁幅のみB=800とします。

284	A-21 S-40	ピット平面図A-21図において耐圧盤天端t300及び水勾配分の増打ちがありますが、補強筋は雑配筋図S-40のD10@200のみとし、その他幅止め筋等は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
285	A-28 S-42	南玄関廻りの押えコンクリート内の配筋について、A-28図では溶接金網ですが、S-42図ではD10@200シングルクロスとなっています。S-42図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	S-42図を正とします。
286	A-28 S-42	南玄関廻りのスロープ RC壁の配筋が不明です。W16と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
287	S-42 A-21	S-42図に梁貫通孔リストがありますが、この数量は設備工事の貫通数量と考え、通気管及び連通管の数量は含まないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
288	S-42	設備工事に関連する床及び壁の開口補強の必要数量が不明です。部位及びサイズ別に補強の必要数量を御指示下さい。	別図-3による。
289		(外部)	
290	特-02	工事区分表において、避難器具が適用となっておりますが該当施工範囲が不明です。御指示下さい。	該当なし。
291	特-04 A-104	打継目地シリングサイズについて、特記仕様書では20*10ですが、共通詳細図(6)では25*10となっております。共通詳細図(6) 25*10を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
292	A-016~019 A-117	北面外壁ECPパネ施工範囲について、平面図ではX5通からX6通方向へ+2100までがECPパネとなっておりますが、PC版割付図ではX5通までがECPパネとなっております。平面図範囲を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
293	A-105	外壁ECPパネ ステンレス水切材厚について、t1.5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。


294	A-105	外壁ECP <sup>ハ</sup> 補足元水抜き <sup>ハ</sup> イ <sup>フ</sup> について、施工間隔は1800と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
295	-	外壁ECP <sup>ハ</sup> 補について、二次防水工法と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
296	A-026	メカニカルバルコニー 縦型ルーバーのストリンガー仕様について、屋上横型ルーバー同様にストリンガーはアルミ製、ストリンガー受け材はスチール製と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
297	A-022	北立面図 X1-2通間 1階部分の外壁仕様について、立面凡例:A PC壁となっておりますが、平面図通りRC壁(凡例:B)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
298	A-008. 026	外部仕上表 メンテナンスバルコニーにおいて、手摺:鋼製溶融亜鉛メッキ仕上の記載がありますが、矩計図(2)には手摺の記載がありません。ストリンガー受け鋼材SBC125([-125*65*6*8)が手摺代用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
299	A-014. 026	地階ドライエリア 排水溝幅について、平面図ではW200ですが、矩計図ではW150となっております。矩計図 W150を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
300	A-014. 015	地階及び1階ドライエリア 排水溝仕上について、防水モルタル下地+床面防水と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
301	A-015. 022	南玄関円柱 撥水剤下地について、平面図ではC-W(化):コンクリート化粧打放ですが、立面図では凡例E:C-W(A)コンクリート打放A種となっております。平面図 C-W(化):コンクリート化粧打放を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
302	A-027. 030	断面詳細図(1) U-U' 断面図 地階ドライエリアにおいて、壁:撥水剤下地がC-W(A)、手摺壁厚W200となっておりますが、矩計図(3)では壁:撥水剤下地がC-W(化)、手摺壁厚W250となっております。矩計図(3)を正と考えて宜しいでしょうか。	断面詳細図(1) U-U' 断面図を正とします。

303	A-030	断面詳細図(1) S-S' 断面図において、1階ドライエリア床防水仕様がC-UIとなっておりますが、外部仕上表ではX-2となっております。1階ドライエリア床防水仕様はX-2を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
304	A-015	南側 1階ドライエリアの排水溝について、平面図(2)では床中央部に排水溝W250+集水桝600角ですが、断面詳細図(1) T-T' 断面図では手摺壁際に排水溝W150となっております。断面詳細図(1)を正とし、集水桝は適用無しと考えて宜しいでしょうか。	断面詳細図(1)を正とし、集水桝は必要です。
305	A-015	平面図(2) 東側 1階ドライエリアに記載のあるドレインφ150と600角集水桝からの排水経路が不明です。御指示下さい。	直下の雨水ピットとします。
306	A-008	外部仕上表 1階東ドライエリア 巾木において、C-W(B)+増打ちt25+T防水(C-UI)と記載がありますが、該当範囲はアスファルト防水立上り保護コンクリート面と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-030図の通り。
307	A-016	南玄関 X7通/Y1通に記載のある集水桝について、450角 H450、防水モルタル仕上、スチール スリット化粧蓋 T-2と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
308	A-016	下図 南玄関階段下の納まり詳細が不明です。御指示下さい。 	A-028図による。
309	A-016	石貼階段段鼻溝加工について、R5.0 溝彫2本と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
310	A-105	南玄関 アスファルト防水納まりについて、共通詳細図(7)において、立上り緩衝材のきさいがありませんが、緩衝材W25、伸縮目地W25 @3000を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

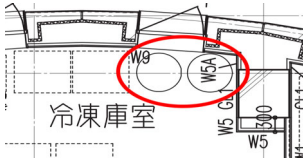


311	A-142	起伏止水板詳細図 側板石貼仕上 御影石 本磨きについて、材厚はt30と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
312	A-124	PC屋根軒先小口部の仕上が不明です。軒裏同様に撥水材塗布と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。御指示下さい。	よろしい。
313	A-020. 124	RF外周部のPC屋根について、軒樋の図示がありませんが不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は仕様及び設置範囲を御指示下さい。御指示下さい。	不要です。
314	A-020	東エリアの曲面範囲について、金属屋根の役物については曲面、その他屋上廻りのALCや立上りRCはすべて多角と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
315	A-124	西エリア屋根の水上側PC小口部分に幕板や仕上の記載が見受けられませんが、EXPカバーの見切シリング位置まで屋根同材の役物包み納めと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
316	A-008	屋根ルーバーについて、立体トラスの上弦材・斜材・下弦材・ブローブ・支承部にフッ素樹脂塗装と記載がありますが、A-121も組下材も対象と考えて宜しいでしょうか。また、他のルーバー受け鉄骨に関しては仕上表・矩計図に記載の通り溶融亜鉛メッキ素地仕上で宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしい。
317	A-033	階段室屋根に軒樋・縦樋の図示がありませんが不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は設置範囲及び仕様・排水経路を御指示下さい。	不要です。
318	A-104	外壁化粧目地/目地切の詳細がございましたが、施工範囲が不明です。御指示下さい。	地階外壁面です。
319	A-104	屋上の押えコン立上げRC基礎について、立上り部の補修はC-W(B) 素地で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
320	A-020	RF屋上の押えコン面はD-F(B) コテ仕上で宜しいでしょうか。御指示下さい。	C-F(B) とします。
321	A-008. 034	EV1屋根の防水仕様が仕上げ表と矩計図で相違します。仕上表が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-034図を正とします。

322	A-014.015	屋上から下階ドライエリア/設備機器置き場までの堅樋足元には樋受け石を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要です。
323	A-015	1F X7/Y1通りの堅樋KPφ150は最寄りの側溝に接続と考えて宜しいでしょうか。	1階南玄関下雨水ピットへ流下とします。
324	A-014.015	アルミハカム庇からの堅樋径が2階平面図と1階平面図で相違します。Φ60が正と考えて宜しいでしょうか。また、堅樋からの雨水は樋受け石設置の上1Fに放流と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	Φ60を正とし、北側は雨水ピットへ、南側雨水はドライエリア床に放流とします。
325	A-014.015	アルミハカム庇鉄骨の柱足元にH250の根巻きコクリートの図示がございますが、仕上が不明です。天端・側面共に床廻り同仕様の御影石仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	コンクリート面補修A種 撥水剤塗布とします。
326	A-124	南側庇詳細について、外壁～樋端部取り合い詳細がございますが、該当する範囲がございません。当該詳細の内容は適応無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は詳細図があてはまる庇伏せ図を御指示下さい。	樋端部を外壁まで延長（2カ所共）とします。
327	A-017	南側庇について、PC外壁と取り合う範囲の屋根役物はすべて曲面と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
328	A-029	スロープ 両端の立上りRC面仕上が不明です。撥水材仕上(天端 C-F(A)、側面 C-W(A)下地)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	コンクリート面補修A種 撥水剤塗布とします。
329	A-029	W6210の止水板のH寸法がH300(0-0´)とH500(K-K´)で相違します。H500が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
330		(内部)	
331	A-016～019	実験研究パーツのミキッパ以外の椅子等の図示は何れも別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

332	A-014~019 069.070	ネズミ返しの員数が建具表では計31ヶ所となっておりますが、平面図では計32ヶ所とくい違いますが、平面図の施工範囲を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面図を正とします。
333	-	特記なきコンクリート打放しはB種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
334	A-015	1階通訳ブースのFL±0部・FL+200部について、何れも鋼製床組で施工するものと考えて宜しいでしょうか。また蹴上部も床同様に合板t12+12+5.5+仕上と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしい。
335	A-108	サインについて下記サインの員数がくい違います。何れもキープランを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・サインA キープラン…86ヶ所 リスト…83ヶ所 ・サインQ キープラン…57ヶ所 リスト…56ヶ所	リストを正とします。
336	A-010 A-051	1階自販機置場の巾木について、仕上表ではSVですが、展開図では御影石とくい違います。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
337	A-014	1階男女更衣室(Clean)について、平面図下図赤丸内の実線の図示の詳細が不明です。ハットドレイヤーと考えて宜しいでしょうか。可の場合、ハットドレイヤーは設備工事とし、取付下地として耐水合板 t=12を見込んで宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。  <div style="text-align: center;">       女子更衣室 (Clean)   </div>	よろしい。
338	A-009.014	B1階ミーティング室について、仕上表備考欄にSUS足洗い流しの記載ですが、平面詳細図には礼拝室に足洗い流しの図示があり、くい違います。礼拝室に施工するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
339	A-014.048	B1階SPF飼育室6について、平面詳細図には二重壁の壁点検口の図示がありますが、展開図には図示がなく、くい違います。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。可の場合、他の部屋についても同様にくい違う場合は平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしい。

340	A-061.102	B1階礼拝室～廊下間の三方枠部の天井伏図にカーテンレールの図示がありますが、仕様が不明です。共通詳細図<4>の中吊りカーテンレールに倣い、アルミア付静音タイプと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
341	A-009.045	B1階洗浄前室について、仕上表には巾木 床仕上立上げ、壁 化粧ケイカル板の記載ですが、展開図には巾木 SV、壁 EP-Gの記載で違いがあります。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
342	A-103	地階動物エリアのストレッチャーガードについて、LGS面には取付下地として、スチール t=1.6 H=200を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	図示の通り。
343	A-100	B1階洗浄室の床について、防水押えコンクリート内にφ6.0 100×100の溶接金網を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
344	A-009.100	B1階洗浄室の床仕上について、仕上表に塗床Aの記載ですが、凡例についての記載が無く、不明です。特記仕様書に記載のメーカー品番と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
345	A-009.100	B1階洗浄室の巾木について、仕上表にH=100の記載ですが、共通詳細図<12>にはH=150で違いがあります。共通詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
346	A-014.103	B1階洗浄室のライニングについて、納まり詳細が不明です。共通詳細図<1>の便所に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
347	A-014.037	B1階EV3横に階段詳細断面詳細図では動物受入ホールの記載ですが、平面詳細図には洗浄前室で違いがあります。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。可の場合、仕上は洗浄前室の仕上表によるものと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	平面詳細図を正とし、仕上げは洗浄前室の仕上表による。
348	A-009.010 A-026.027 A-036	B1階機械室及び1階電気室の床仕上について、仕上表にはE (B) の凡例ですが、矩計図及び階段詳細図にはE (C) の凡例で違いがあります。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

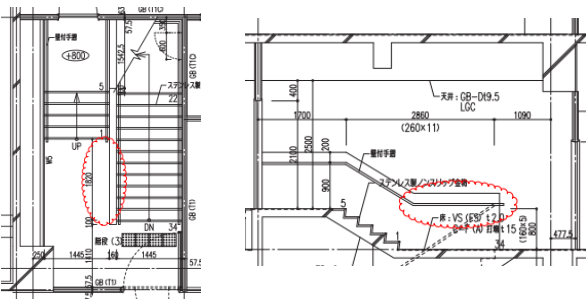
349	A-104	設備基礎について、共通詳細図<14>にAタイプ C-RC+E(B)の図示とBタイプ D-F(B)+指定仕上材の図示がありますが、設備基礎設置の室は全てE(B)仕上のため、Bタイプは該当無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
350	A-010.026	1階電気室の床について、嵩上コンクリート内にφ6.0 100×100の溶接金網を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
351	A-015	1階電気室について、RC階段部分の納まり詳細が不明です。モルタル金鍍+床仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
352	A-010.015	1階展示スペースの壁について、EV面の壁下地が不明です。<GL-1>と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C-W(A)EPとします。
353	A-016～019	2～5階冷凍庫室について、平面詳細図下図赤丸内の実線の図示の詳細が不明です。御指示下さい。 	別途備品工事です。
354	A-013	5階センター長室の壁について、仕上表に天然木化粧合板張り上部VCの記載ですが、化粧合板とVCの取合部に見切が必要な場合は仕様を御指示下さい。	不要です。
355	A-013.019 S-15	5階更衣室の床下地について、仕上表には0A707の記載ですが、平面詳細図には凡例が無く、くい違います。構造図伏図には床下りの記載が無いのため、増打コンクリート t=15+コンクリート金鍍+床仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
356	A-013.063	5階更衣室の天井について、仕上表にはLGS+DR t9の記載ですが、天井伏図にはGB-R t=9.5+DR t9の凡例でくい違います。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	天井伏図を正とします。
357	A-010.051 A-061	1階控室の天井高さについて、仕上表にCH=2800の記載ですが、展開図及び天井伏図にはCH=2500の記載でくい違います。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	天井伏図を正とします。

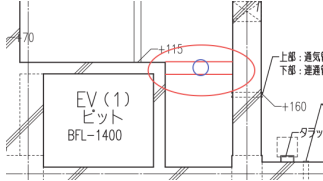
358	A-010.051	1階控室について、仕上表備考欄に化粧鏡の記載がありますが、建築工事と考えて宜しいでしょうか。可の場合、鏡の厚みは t=5.0、枠はステンレス四方枠と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	建築工事とし、鏡t=5.0四方ステンレス枠付とします。
359	A-015.102	1階控室のカウンターについて、共通詳細図にはW1634の図示ですが、平面図にはL=1630の記載で違いがあります。共通詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面図を正とします。
360	A-009.033 A-034	B1階廊下の天井仕上について、仕上表にはGB-Dの記載ですが、階段詳細図にはDRの記載で違いがあります。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
361	A-014.032	B1階EVホール1～女子更衣室間の壁について、階段詳細図に<W2>の図示ですが、平面詳細図及び構造伏図にはRC壁の図示で違いがあります。RC壁と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
362	A-016.078	2階副室～教授室間にサッシュ方立の図示がありますが、納まり詳細が不明です。W200×D40 スチール t=1.6 SOPと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	スチール t1.6 SOP W350xD129 H1425 ガラスウール充填(32kg/m3) サッシ取付: [-40x20x2.3 とします。
363	A-011～013 A-056.058 A-060	2～5階廊下の巾木について、仕上表には壁仕上同材の化粧鋼板 <sup>6</sup> の記載ですが、展開図にはSVの図示で違いがあります。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
364	特-04 A-010	400×400を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・特記仕様書(4):400×400 ・特記仕様書(5):400×600 ・仕上表:600×600	400x600を正とします。
365	A-103	共通詳細図(5)<4>大便器詳細図及び<7>小便器詳細図について、ライン <sup>g</sup> の納まりは<1>SK詳細図に倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
366	A-039～041 A-103	WC洗面カウンターについて、H寸法が下記のように違いがあります。H700を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・便所詳細図:H800 ・共通詳細図(5)<2>洗面詳細図:H700	よろしい。

367	A-039～041	WCの下記項目の仕様が不明です。メーカー品番を御指示下さい。 1)フック 2)150角点字タイル	1) ステンレスフック LIXIL KF-28 2) ステンレス点字鋌 エオン UY300-54-206 同等品以上とします。
368	A-103	下記の衛生器具について、取付下地の記載がありませんが補強FB-3×25を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・紙巻器 ・HWC チェンジングボード ・HWC 手摺	よろしい。
369	A-039～041 A-103	共通詳細図<1>SK詳細図について、フック下地(杉30×60)3方の記載がありますが便所詳細図には1方の図示しかなく、くい違います。便所詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
370	A-040	基準階MWCについて、小便器横手荷物台の納まりが不明です。ラインゲと同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
371	A-041 A-103	WC洗面カウンター前化粧鏡について、地階便所・5階個別便所展開図のみ実線の図示となっておりますが、共通詳細図(5)<2>洗面詳細図に記載の通り全て別途設備工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
372	A-008	階段(1)～(3)について、仕上表に巾木SVの記載がありますが施工範囲は最下階のみと考えて宜しいでしょうか。段部にも施工する場合は巾木の形状(ササ・段型)を御指示下さい。	巾木SVは必要です(段型)。
373	A-032～036	階段(1)(2)について、断面図の図示より片面壁W5Aの下地はLGS100型(5.0m超え)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
374	A-032	壁付手摺用取付下地としてスチールPL t=1.6 H=200を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
375	A-008 A-103	階段(1)～(3)について、仕上表備考欄に点字シートの記載がありますが共通詳細図(5)<12>手摺点字サインが該当するものとし、自立手摺・壁付手摺の階段上り口・下り口に1ヶ所ずつ見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	N. 184参照。
376	A-008 A-033 A-063	階段(1)最上階天井高さについて、下記のようにくい違います。断面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表:CH3010 ・断面図:CH2100 ・天井伏図:CH2500	A-033図を正とします。

377	A-033 A-036 A-061~063	階段(1)(2)各階天井仕上及び天井高さについて、下記のようにくい違います。断面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・断面図:C-C(A)+EP-G 直天 ・天井伏図:LGC+GB-NC CH2500	よろしい。
378	A-008 A-032 A-033	階段(1)について、段裏の仕上が下記のようにくい違います。EP-Gを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表、断面図:EP-G ・RC階段部手摺詳細図:EP	よろしい。
379	A-008 A-033 A-037	階段(1)(3)について、段裏の打放種別が下記のようにくい違います。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表:A種 ・断面図:C種	よろしい。
380	A-033 A-037	階段(1)(3)について、梁型の仕上はC-C(A)+EP-Gと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
381	A-033 A-037	階段(1)(3)について、RC中壁天端の納まりはコンクリート金鍍+EP-Gと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
382	A-008 A-129	階段(2)床下地について、仕上表に踊場・踏面・蹴上モルタルt=45の記載がありますが、鉄骨階段詳細図(2)より下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・踊場:モルタル t=75 ・踏面:モルタル t=45 ・蹴上:鉄骨面VS接着貼	よろしい。
383	A-129	階段(2)床下地について、モルタル内容接金網の仕様が不明です。φ3.2 50×50と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
384	A-129	鉄骨階段詳細図(2)手摺詳細図について、鉄部はSOPと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
385	A-036 A-129	階段(2)について、踊場X1通り自立手摺のH寸法が下記のようにくい違います。H=1150を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・階段(2)詳細図(2)断面図:H=900 ・鉄骨階段詳細図(2):H=1150	階段(2)詳細図(2)断面図を正とし、最上階のみH1150とする。



386	A-032 A-035	階段(2)について、壁付手摺の仕様は階段(1)に倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
387	A-008 A-037	階段(3)について、天井仕上が下記のように違いがあります。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表:GB-NC ・階段(3)詳細図:GB-D	よろしい。
388	A-037	階段(3)について、1階手摺壁の壁付手摺施工範囲が下記のように違いがあります。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。  ・平面詳細図 ・断面図 	よろしい。
389	A-008 A-132. 133	らせん階段床下地について、仕上表に踊場・踏面・蹴上モルタルt=30の記載がありますが、らせん階段詳細図(3)(4)より下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・踊場:モルタル t=80 ・踏面:モルタル t=40 ・蹴上:鉄骨面VS接着貼	よろしい。
390	A-008. 020	屋上設備基礎・ハト小屋のスラブ下熱橋部に450mmの断熱を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
391	A-021	ピット排水溝について、モルタル+床防水(防水無い箇所は防水モルタルのみ)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
392	A-021	釜場上部点検口にタップの図示がありませんが他の点検口同様に必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図示の通り。
393	A-009 A-031	雑排水層・動物排水槽・汚水槽・高温排水槽壁仕上について、仕上表にC-W(B)の上T防(a)と記載ありますが、断面詳細図(2)にC-W(B)の上T防(C-UI)と違いがあります。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

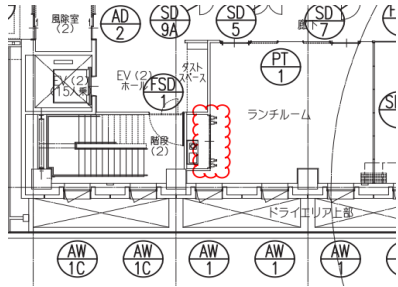
394	A-009 A-031	高温排水槽床仕上について、仕上表にC-F(A)の上T防(a)と記載ありますが、断面詳細図のC-F(A)の上T防(C-UI)とくい違います。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
395	A-021 S-12	<p>ピット下図赤丸部について、意匠図に地中梁の図示がありませんが、構造図では下図赤線の部分に地中梁の図示があり、くい違います。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。科の場合、人通口φ600が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> 	構造図を正とし、人通口が必要です。
396	A-021 S-12	<p>ピット下図赤丸部について、意匠図に地中梁の図示がありますが、構造図にはなく、くい違います。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> 	意匠図を正とします。
397	A-021	湧水排水槽の釜場は塗布防水(C-UI)が必要と考えて宜しいでしょうか。不可の場合は詳細を御指示下さい。御指示下さい。	よろしい。
398	(建具)		
399	A-069	LSD5Aについて姿図がありません。LSD5と同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
400	A-067~ A-073	建具表に記載の衝突防止マークについて、仕様が不明です。両面貼 ステンシル φ30と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
401	A-070	LSD13D、LSD24A、LSD25についてガラの仕様が不明です。焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

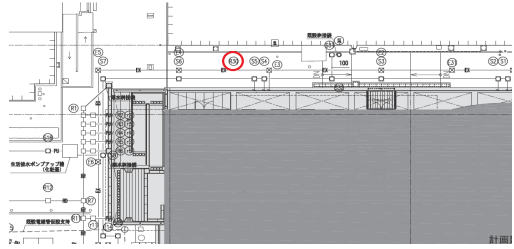
402	A-070	LSD18Aの姿図がありません。LSD18の姿図が適用されると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
403	A-070	LSD20B、LSD20C、LSD20Dの姿図がありません。LSD20の姿図が適用されると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
404	-	PC面と建具との取り合いはモルタル充填と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	モルタル充填とします。
405	A-70	外部のSDについてDP塗装とありますが、DP1級と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
406	特-6	特記仕様書(6)の建具工事に記載の鍵箱について、1か所見込むと考えると宜しいでしょうか。メーカー品番と併せて御指示下さい。	監督職員と協議すること。
407	特-07	建具表に記載の飛散防止フィルムについてメーカー品番は3M:SH2CLAR同等と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
408	A-067	FSD1、FSD2、FSD2Aについてくぐり戸とありますがH寸法が不明です。H2000と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	H1800とする。
409	A-067 A-074	AW1について、建具表の法規制欄は空欄となっていますが、詳細図では個別防火設備とあり違いが異なります。建具表を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とする。
410	A-068	SW1について建具表に建具詳細図A-00図とありますが、不明です。御指示下さい。	A-043図参照とする。
411	A-072	LSS1について、建具表に座板、レール、ケースはカー鋼板とありますが、マガサについてもカー鋼板と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
412	A-068	SD4、SD15、SD16、LSD26について木製リブ貼とありますが、樹種が不明です。杉と考えると宜しいでしょうか。塗装が必要な場合は御指示下さい。	A-043図の内壁 木リブ張りに倣う。
413	A-069	LSD6Aについて姿図がありません。LSD6と同様と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

414	A-069	LSD10について、蓋付ガラス窓とありますが建具表のグレイジング欄に記載がなく仕様が不明です。他の建具に倣い2成分系のシーリングと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-102図6参照とする。
415	A-072 A-087	SLW2Aについて、仕様についてはSLW2と同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	SLW2Aは戸袋パネルt50とする。
416	特-07 A-068	SW1について、特記仕様書(7)では合わせガラスは曲面強化合わせガラスとありますが、建具表ではフラット合わせガラスとあり違いが大きいと思います。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とする。
417	特-07	上記質疑が正の場合SW1について、特記仕様書(7)では合わせガラスは曲面合わせガラスとありますが、平面図より平面合わせガラスと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
418	A-067	AW1Bについて、姿図では軒天グリル付とありますが、建具表に記載がなく違いが大きいと思います。姿図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	軒天グリル無しとする。
419	A-067 A-074	上記質疑が正の場合AW1Bについて、AW1、AW1Aの詳細図が適用されると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	上記回答による。
420	A-067 A-074	上記質疑が正の場合、詳細図には防火設備とありますが建具表に防火設備の記載がなく違いが大きいと思います。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	上記回答による。
421	A-067 A-075	AW1C、AW1E、について、建具表に建具詳細図参照とありますが、AW1Dの建具参照図に適用されると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
422	A-067 A-075	上記質疑が正の場合、詳細図に防火設備とありますが建具表には防火設備の記載がなく違いが大きいと思います。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
423	A-067 A-075	AW1Gについて、建具表に建具詳細図参照とありますが、AW1Dの建具参照図に適用されると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
424	A-067 A-074	AW1Fについて、建具表に建具詳細図参照とありますが、AW1、AW1Aの建具参照図に適用されると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

425	A-067	AW1C、AW1D、AW1Eについて網戸に適用なしとありますが適用ありと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図示の通り。
426	A-067 A-075	AW1C、AW1D、AW1E、AW1Gについて塞ぎパネにウレタン吹付とありますが厚みが不明です。t25と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
427	A-067 A-074 A-075	AW1～AW1Gについて、詳細図ではペアガラスとありますが、建具表では複層ガラスとあり違いがあります。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。不可の場合はガラスの仕様を御指示下さい。	建具表を正とする。
428	A-067 A-075	AW2Aについて詳細図参照とありますが、AW2の詳細図が適用されるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
429	A-067 A-074	AW1、AW1Fについて詳細図では防火設備とありますが、建具表では防火設備の記載がなく違いがあります。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とする。
430	A-067 A-076	AD1について、建具表の姿図では可動部のH2690欄間部H456.5とありますが、詳細図では可動部H2300欄間部H846.5とあり違いがあります。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
431	特-06 A-064	アルミ製建具の防虫網について、特記仕様書(6)では合成樹脂製とありますが建具特記仕様書ではガラス繊維入り合成樹脂とあり違いがあります。建具特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。	特記仕様書(6)を正とします。
432	A-071 A-082	STD15について、建具表に衝突防止シールとありますが姿図に図示が無く個所数が不明です。φ300と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
433	A-072	PT1～PT10について建具の仕様はA-088とありますが、設置場所が螺旋階段のため、A-089.090と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
434	A-070 A-077	LSD19について、建具表ではガラスのクレンジングはシリコン系シーラントとありますが、詳細図ではビートとあり違いがあります。詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
435	A-070	LSD25のガラスについて、寸法が不明です。W150×H150と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

436	A-079	ACW1について、耐火ボードの図示がありますが、ケイカル板の上から見え掛り面にEP塗装が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
437	K-05	AW5について、防火改修建具詳細図にパネ裏ロック吹付の図示がありますが、厚みが不明です。t20 30分耐火と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
438	K-04	AW6について、防火改修建具詳細図において、AW6の欄間部にロック吹付とありますが、厚みはt20 30分耐火と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
439	特-07	ACW1について、特記仕様書(7)メタカーテンウォールについて、映像調整を行う、とありますが、熱線反射ガラスの使用が無いため、映像調整は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要です。
440	A-067	AG1～AG4について、建具表の4方アングルビスとはダブ外接続金物のことと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
441	A-067	上記質疑に関連して、AG1～AG4にはいずれにもステンレス防鳥網が設置されるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
442	A-067 A-068 A-071 A-089	下記の項目のメーカー品番を御指示下さい。 ・目隠しフィルム(AF1F, PT2) ・不透明フィルム(STW1) ・天然木シート(SD3, LSD15)	目隠しフィルム→スリーエムジャパン イルミナルキース SH2SSIM-S 同等品以上 不透明フィルム→スリーエムジャパン ミルキーホワイト SH2MAML 同等品以上 天然木シート→(株)森祥化粧合板 モリシート不燃 同等品以上
443	A-068	SD3について、建具表に扉見込が126とありますが、記載の通り126と考えて宜しいでしょうか。不可の場合、新たに建具見込を御指示下さい。	扉見込み100とします。
444	A-064 A-068	鋼製・鋼製軽量・ステンレス建具特記事項において、外部出入口扉枠はAT仕様とする、とありますが、下記の建具は外部建具ですが建具表にATの記載がありません。いずれもATと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・SD13A ・SD14	よろしい。

445	A-065	<p>1階ランチルームに折れ戸の図示がありますが建具符号の記載が無く詳細が不明です。建具詳細を御指示下さい。</p> 	別図-1による (LSD27)。
446		(外構)	
447	E-01	<p>外構平面図において、新設緑地面積の範囲が見られませんが、下記仕様の客土を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H=300+C9:C19</li> </ul>	H=150とします。
448	E-05	<p>外構詳細図(3)において、現場打掛バートA 床仕上の仕様が詳細図とC-C断面図で下記のように異なります。詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細図・・・底均しモルタル t50～65程度</li> <li>・詳細図・・・底均しモルタル t30～60程度</li> </ul>	t 50～65程度を正とします。
449	E-02	<p>外構排水計画図において、排水ポンプアップ槽及びpHモニター槽は根切深さが3820となりますが、下記の山留を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしい。
450	E-02	<p>外構排水計画図において、排水ポンプアップ槽及びpHモニター槽の内側に関する仕上が不明です。下記で宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・打放補修の上 塗膜防水</li> </ul>	よろしい。
451	A-111	<p>サイン詳細図(3)において、サインM 基礎の地表露出高さが不明です。H=100程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしい。

452	E-02	<p>外構排水計画図において、下図 赤丸範囲に記号R30が見られますが、柵リストには記載が無く詳細が不明です。記号R30の柵は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は仕様を御指示下さい。</p> 	不要です。
453	E-02	<p>外構排水計画図において、柵リストにS31が2つ記載がありますが、平面には柵 S31は1つしかありません。柵リストを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	柵S31は1ヶ所 塩ビ柵(DR)を正とします。
454	E-02	<p>外構排水計画図において、ポンプアップ・モーター槽の断面図に足掛け金具の設置指示がありますが、仕様と設置ヶ所が不明です。御指示下さい。</p>	<p>铸铁製 @300とします。 (カネウチ 足掛金物 FG 同等品以上)</p>
455	E-02	<p>外構排水計画図において、敷地西側 R0.E0 雨水柵の蓋は更新と記載がありますが、蓋の取り換えを行うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしい。
456	E-04	<p>外構詳細図(2)において、銅像移設の詳細図がありますが、移設は既存銅像下 基礎も移設に含まれると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしい。
457	E-05 E-07	<p>外構詳細図(3)(5)に記載のカーポートの土工事は、オープンカット工法と考えて宜しいでしょうか。山留を見込む場合は仕様と範囲を御指示下さい。</p>	仮設計画図(2)STEP4による。
458	E-08	<p>外構詳細図(6)において、貯油槽基礎の土工事に下記仕様の山留を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・躯体から500離し</p>	仮設計画図(2)STEP4による。
459	E-04 E-20	<p>仮設計画図及び外構平面図において、敷地外南側に切下げ範囲が見られますが、切下げ幅が仮設計画図は8.2m、外構平面図では6.2mとそれぞれ異なります。また、工事の明確な内容及び工事の手順が不明です。詳細を御指示下さい。</p>	<p>工事中用出入口として仮設切下げ(幅8.2m)設置、位置をズラして外構整備において本設の切下げ(幅6.2m)を整備し、その範囲外を歩道復旧します。</p>



460	E-06	外構詳細図(4)において、目隠しフェンス基礎の配筋が不明です。下記で宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・配筋・・・加`筋D10@200(縦横共)フ`筋D10@200	無筋とします。
461	E-15	構内配電線路 現況図(撤去図)において、凡例PB-1 プルボックスの記載がありますが、平面上に見当たらず位置が不明です。御指示下さい。	注記のとおり本工事は地中埋設物のみ撤去対象なのでプルボックスは撤去対象外です。
462	E-16	構内通信線路 現況図(撤去図)において、凡例PB-1.4 プルボックスの記載がありますが、平面上に見当たらず位置が不明です。御指示下さい。	注記のとおり本工事は地中埋設物のみ撤去対象なのでプルボックスは撤去対象外です。
463	E-17	全体配管図(撤去)において、撤去・処分 凡例 給水管・ガス管・雑排水管・実験排水管・汚水管と記載がありますが、平面上に記載が無く、範囲が不明です。範囲図等で御指示下さい。	図面の注記1に記載の通りとする。
464	E-17	全体配管図(撤去)において、撤去樹リスト 番号17~7 小口径樹、番号10 公共樹と記載がありますが、平面上に記載が無く、範囲が不明です。範囲図等で御指示下さい。	撤去樹リスト 番号1~7 小口径樹についてはE31図に記載の通りとする。番号10 公共樹についてはE17図に記載の通りとする。
465	E-02	外構排水計画図において、樹リスト及び水槽の詳細図が見られますが、建築工事区分と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
466	E-15 E-16 E-17 E-18	撤去図において、設備工作物の撤去に関する指示がありますが、本工事・別途工事何れでしょうか。御指示下さい。	本工事内です。
467	-	実験排水管 VP φ100について外構排水計画図に記載が無いように見受けられますが、必要な場合は施工範囲を御指示下さい。	図示の通り
468		(仮設)	
469	No154, 155	汚染土壌撤去工事において、汚染土壌撤去図(参考)は撤去範囲を示した図面と考えて宜しいでしょうか。(土壌汚染区域図であれば汚染区域+αが必要です)	よろしい。

470	No149	仮設計画図(2)のSTEP1(工事着手時)の地中配管切回し工事は別途設備工事との記載がありますが、雨水、生活排水、実験排水共に別途設備業者の施工と考えて宜しいでしょうか。	本工事内です。
471	特-12	埋蔵文化財調査特記事項について「調査に必要な発掘作業等(発掘に必要な仮設、機器等を含む)」とありますが、仮設と機器は具体的に何を指すのでしょうか。調査作業員1200人の他にベルトコンベア等も本工事に含まれるのでしょうか。機器の仕様・台数・使用期間ご指示お願いします。	別図-8参照。
		以下、余白	

標記工事の設計図書について下記のとおり変更します。

No.	図面番号	指示事項
変更1	A-099 A-104	軽鉄壁およびRC躯体部分の設備関係開口リストを追加します。(別図-2)
変更2	E-01 E-17 E-18	排水関係の図面を別図-5～別図-7に変更します。
変更3	現場説明書 (2)	埋蔵文化財発掘調査事務所(3間×6間 1層)の平面レイアウトは別図-9の通りとします。
変更4	-	質疑回答書(設計図書)、質問回答書(数量書)及び、記載誤りの訂正に伴い、設計図書の一部が変更になったので、変更箇所を反映した別図-1～9のデータを本日(令和3年4月2日)中に競争参加者に対し電子メールにて送付します。
		以下、余白